

令和7年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

1 開催日時 令和8年2月10日(火)
午前10時30分～正午

2 開催場所 小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

3 出席者及び欠席者

(出席委員) 8名

会長	長尾 英俊	(公財)小牧市スポーツ協会副会長
委員	木野 孝司	(公財)小牧市スポーツ協会競技副委員長
委員	花井 忠征	中部大学副学長
委員	舟橋 巧	小牧南スポーツクラブ役員
委員	御苗 卓也	小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
委員	宮崎 加代	小牧市体操連盟理事
委員	高原 正子	市民公募委員
委員	松本 高幸	市民公募委員

(欠席委員) 2名 (寺本 圭輔・松永 恒二)

(事務局)

健康生きがい支え合い推進部長	駒瀬 勝利
健康生きがい支え合い推進部次長	永井 政栄
文化・スポーツ課長	藤田 伸也
文化・スポーツ課主幹	鈴木 尚紀
学校教育課指導主事	高堀 文男
文化・スポーツ課施設運営係長	丹羽 英智
文化・スポーツ課事業推進係長	松浦 由和
事業推進係主任	松田 香奈
事業推進係主事	永田 脩祐
事業推進係主事補	渡邊 眞士
社会教育指導員	大森 健司

((公財)小牧市スポーツ協会)

局長	青山 寿彦
次長	舟橋 雅樹
ジュニア育成指導員	中谷 直

4 傍聴者 1名

5 会議の内容

(1) 議事

- ア 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- イ 令和8年度教育委員会基本方針重点施策について

ウ 第2次小牧市教育振興基本計画の方針案について

6 会議の資料

- (1) 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（資料1）
- (2) 令和8年度小牧市教育委員会基本方針（資料2）
- (3) 小牧市教育振興基本計画の改定について（資料3）
- (4) 令和7年度スポーツ教室実施状況（参考資料1-1・2）
- (5) 令和7年度地域スポーツ教室実績（参考資料1-3）
- (6) 令和7年度こども対象スポーツ教室実施状況（参考資料1-4・5）
- (7) 小牧市の中学校運動部活動の現状（参考資料1-6）
- (8) 小牧市の中学校文化部活動の現状（参考資料1-7）
- (9) 令和7年度小牧市民スポーツ教室パンフレット（参考資料）
- (10) 令和7年度ジュニア育成活動パンフレット（参考資料）
- (11) 令和7年度V i V a ! スポーツクラスのチラシ（参考資料）

7 議事内容

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

只今から、令和7年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。私は、本日の司会進行をつとめます文化・スポーツ課長の藤田です。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開としています。本日の傍聴人は1名です。

それでは、資料の確認をさせていただきます。（会議の資料に不足がないことを確認）

それでは最初に、健康生きがい支え合い推進部長の駒瀬から、ご挨拶を申し上げます。

[駒瀬健康生きがい支え合い推進部長]

健康生きがい支え合い推進部長の駒瀬です。本日は大変お忙しい中、本審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

すでにご承知だと思いますが、先月1月25日、小牧シティマラソン大会を開催いたしました。市内外から4,000名を超える方に参加をいただきまして、小牧の街中を走っていただきました。前日から寒波が押し寄せており、雪もちらつく中、大会が開催できるかどうか非常に心配であったところではありますが、スポーツ協会や振興会、競技団体の皆様のお骨折りにおきまして無事大会を開催することができました。開催できたことに対するお礼、非常に走りやすかったというような声も寄せられているところでもあります。また今回は、キッチンカーを準備させていただいて、参加いただいたご家族にも楽しんでいただいたところでもあります。

現在、冬季オリンピックがイタリアミラノ・コルティナで開催されています。この地域の選手も参加されていて、メダルを獲得されたという方もお見えになりま

すが、今年の9月からはアジア競技大会が日本で開催をされるところです。小牧市はバレーボールの競技会場となっておりまして、女子決勝が小牧で開催される予定です。チケットは2月26日から開催地先行で発売されます。大会気運を盛り上げ、市民総スポーツにつなげていきたいと考えております。

さて本日の審議会では、小牧市教育振興基本計画のうち、毎年度ごとに選定した重点施策の点検評価を行いご意見をいただきます。忌憚のないご意見をお願いしまして簡単ではありますが私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

[事務局] (藤田文化・スポーツ課長)

それでは、次第2の「議事」に移ります。「議事」の進行につきましては、規定により、会長が会務を総理することになっておりますので、長尾会長、よろしくお願いいたします。

[長尾会長]

それでは議題に沿って進めさせていただきます。最初に、令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、事務局から説明をお願いします。

[事務局] (松浦事業推進係長)

令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についてご説明いたします。

資料1の1ページをご覧ください。

最初に、この点検評価と教育委員会基本方針重点施策について、簡単に確認をさせていただきます。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、毎年、点検及び評価を行い、結果に関する報告書を作成し、議会への提出、公表が規定をされています。

本市では、平成29年3月、「小牧市教育振興基本計画」として、平成29年度から令和8年度までの10年間の計画を策定し、令和3年度の間見直しを経て、令和4年度から令和8年度の計画を現在進めています。

基本計画にある事業から、年度ごとに重点施策を選定し、分野ごとに設置された審議会等で点検評価を実施していただきます。

それぞれの審議会等でいただいたご意見等を反映した実施状況は、最終的には基本計画の評価委員会ですべての事業とあわせて点検評価がされるという流れとなっております。

この審議会では、文化・スポーツ課の所管するスポーツに関連する基本目標6について、ご意見をお願いするものでありますので、よろしくお願いいたします。

資料を1枚おめくりいただき、2ページをお願いします。

基本目標6の評価指標の推移になります。こちらについては、お手元の小牧市教育振興基本計画の冊子の81ページにも、同じ指標と目指す方向性について記載がされています。ただし81ページに記載した基準値については、温水プールが開館していたときの実績値を基準としている指標があるため、資料1-2ページに記載した基準値は、温水プール閉館後の各年度の実績値を基準とさせていただき、冊子81ページの指標から一部を抜粋したものとしております。

この指標は小牧市教育振興基本計画の施策・取組の総合的な成果を測定するものとして位置づけ、取組の進捗状況と合わせて定期的に確認することで、その結果を市政の継続的な改善・向上に生かしております。

指標について、毎年実施している18歳以上の小牧市民を対象とした市民意識調査などの結果から数値を出しておりますが、令和7年度については、まだ実績が出ておりませんので、令和6年度までをお示しさせていただきました。スポーツ指導者の登録数について数が増えておりますが、これはスポーツ協会のジュニア指導者バンク登録者の計上の仕方を令和6年度から変更したものによります。このほか、様々な指標がございますが、目標値を達成できるように、それぞれの事業を推進してまいります。

続きまして、資料1の3ページをお願いします。

令和7年度の基本方針の重点施策の一覧になります。基本目標6として、4つの取組を掲げております。

それでは、その取組を個別に説明させていただきます。

資料の4ページをお願いいたします。

基本目標6、誰もが参加できるスポーツ活動の展開、施策25「スポーツ教室の開催」です。

スポーツに取り組む目的や手法は多種多様です。目的としては、健康づくりのためや、競技スポーツをもっとうまくなりたいなど、また、手法としては、スポーツ教室に参加する、スポーツジムに通う、個人でランニングを行うなど様々です。

そのような中で、市としては、スポーツ協会や、スポーツ協会加盟団体、小学校区のスポーツ振興会など様々な組織がある中で、そういった組織と連携してスポーツ教室を開催することで、市民がスポーツを始め、それぞれのライフスタイル、ライフステージに応じて継続してスポーツに取り組むことができる機会の提供に取り組んでいます。

また、これらのスポーツ団体に対し、助成金などの支出や市内のスポーツ施設及び学校体育施設の優先貸出といった各種支援を行うことで、市内のスポーツ団体の活性化に取り組んでいます。

資料下段の四角部分に主なスポーツ教室の内容を記載しています。

左から、こどもから大人まで、基礎技術の習得や競技力の向上を目的に開催している「競技団体のスポーツ教室」、競技団体で実施していない種目や、競技を始める

きっかけの場として開催している「スポーツ協会のスポーツ教室」、健康増進を目的とした「市のスポーツ教室」、気軽に楽しめるニュースポーツなどを小学校区スポーツ振興会などが開催している「地域スポーツ団体のスポーツ教室」があります。

資料の5ページから7ページまでと別紙参考資料の1-1～1-3と「令和7年度小牧市民スポーツ教室」パンフレットについては、各スポーツ教室の詳細情報となります。

資料1の7ページをお願いします。

課題としましては、スポーツ協会が主催するスポーツ教室の受講者アンケートにおいて、技術レベル別のクラス分けの要望がありました。このスポーツ協会主催の教室は、初心者がこれからスポーツを始めるきっかけとなることを目的に開催している教室です。ただ、参加者の中にはある程度、競技を経験されている方も見えれば、そうでない方も混在している状況です。可能な限り、参加者同士のレベルが合うように組み分けを実施するなど、参加者にとってより良い環境を整えていきたいと考えています。

また、先ほど2ページでお示した、評価指標の中で、週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合という項目がありますが、この数値は年々上昇傾向にあります。この資料に記載はありませんが、令和6年度のアンケート調査では、男女別では男性が64.2%に対して、女性が53.7%、年代別では、65歳以上が70%を超えているのに対して、30歳代から50歳代までが40%台と大きく差が出ております。

この傾向はスポーツ庁での調査結果でも同様であり、運動をしていない理由としては、男性のトップが「仕事が忙しい」と時間的な制約によるものに対して、女性では「面倒くさい」と運動に対する心理的なハードルの高さによるものとなっております。

今後目標値を達成するためには、働き世代・子育て世代及び女性の割合を押し上げていくことが肝要であり、様々なスポーツ教室なども活用しながら、意識啓発、環境整備に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、8ページをお願いします。

施策26「こども対象のスポーツ教室の開催」です。

こどもの体力・運動機能の低下が問題視される中、早い時期から運動に触れ、運動を好きになり、様々な年代のこどもたちと触れ合いながら心身を健全に発育させることを目的に、市やスポーツ協会においてスポーツ教室を開催しています。

参考資料1-4をご覧ください。スポーツ協会のスポーツ教室では、あそび運動教室、かけっこ教室、元オリンピック日本代表の寺本明日香さんに行っていたいるジュニア体操教室やジュニア育成事業のほか、スポーツ協会の誘致事業として誘致したスポーツチームにご協力をいただき、小学生、中学生に対して指導を行うスポーツクリニックを開催しています。

資料1に戻っていただき、9ページをお願いします。

「市のスポーツ教室」ですが、未就学児を対象とし、親と子のふれあいのなかで、親は遊ばせ上手に、こどもは遊びを通じて生きる力を育てることを目的とした親子ふれあい体操教室や、小学生をターゲットとして、ニュースポーツをアレンジした種目を体験し楽しみながらスポーツへの興味を持ってもらうことを目的とし、スポーツ推進委員の企画運営で実施しているわいわいキッズNewスポーツフェスタがあります。

課題として、あそび運動教室・親子ふれあい体操教室の未就学児向けの教室は定員割れが生じています。

教室の周知のため、児童館など様々な施設にチラシの配架を行うことのほか、他の未就学児向けの教室の参加者に直接PRを行うなど、新規参加者の獲得を目指してまいります。

また、市が主催する親子ふれあい体操教室についてですが、令和4年度までは毎回定員を超える申し込みがありました。定員に満たない回が見受けられます。定員割れが生じた理由として考えられることとして、令和5年度から小牧市独自に市内の保育園、認定こども園、小規模保育事業所に通う、0歳児～2歳児までのすべての園児の保育料を無償化したことや、少子化の影響もあると思われます。今後の状況を見ながら、講座の実施回数などを検討してまいります。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

続いて、10ページをお願いします。

施策26「地域部活動の検討」についてです。

少子化の中でも、将来にわたって小牧市の子どもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保することをねらいとし、学校部活動の地域連携・地域展開のあり方を検討してきました。

令和7年度につきましては小牧中、小牧西中の2校間における地域連携、篠岡中、桃陵中、光ヶ丘中の3校間における地域連携に取り組みました。種目ごとに会場となる学校を指定し、それぞれの学校から希望する生徒が参加をしました。指導者としては部活動顧問、民間指導者が協力しながら活動を行いました。

真ん中あたりにモデル校における成果を書かせていただきました。モデル校における取組の成果としまして、桃花台地区のバスケットボール、野球、サッカーなどの種目で、部員不足の問題が解消されたり、在籍校には設置されていない部活動に参加できたり、生徒の活動機会を広く保障することができました。また、学校という単位ではなく地域での活動となることで、多くの指導者の目で見守る環境、教員が交代で休養を取りやすくなる環境が生まれつつあります。

その一方、四角の中に書かせていただいておりますが、課題として、それぞれの学校で行事等の予定があり、毎週のように地域連携部活動に取り組むことは難しく、また、現状では部員不足の場合を除き、学校単位での大会参加となっているため、

大会前には学校ごとの取組にならざるを得ないことなどが挙げられます。また、生徒の安全管理の観点から、保護者との連絡手段の確保も大きな課題の一つと言えます。これまでの取組を踏まえ、今後の取組の基本的な方向性については、これまで学校単位で部活動として行われてきた活動を令和9年度からを目標として、地域の取組として関係者が連携して支える環境へと変えていきたいと考えています。

11ページをご覧ください。現在部活動検討委員会で検討されている、地域全体で支えていく取組の大まかなイメージです。市が運営する地域クラブ活動、民間が運営する地域クラブ活動、現在も行われているジュニア育成活動など、生徒が自身の希望に合わせて、スポーツ・文化芸術活動に親しむ場を選択していくイメージとなります。

市が運営する地域クラブ活動では市全体を4つのブロックに分けて活動場所を指定し、指導者や運営については、例えば民間業者への委託などが考えられます。指導を希望する教員には兼職兼業を認め、民間指導者として関わる形を整備していきたいと考えています。今後、市が運営する地域クラブを具体化するためには、児童生徒のニーズを改めて把握すること、指導を希望する教員の人数や種目を把握することが必要であると考えております。

[事務局] (丹羽施設運営係長)

続きまして、12ページをお願いします。

基本目標6、施策28「市民のスポーツ活動を支える環境設備」です。

総合体育館では、アジア競技大会開催に向けた整備として、施設内の和便器をすべて洋式化するトイレ改修工事、メインアリーナの音響設備等更新工事、不陸となった部分の園路の改修工事、屋外スピーカー取替修繕を実施しました。そのほかに昨年度に故障した管理棟空調機更新工事や、予防整備として、交流サロンや電気室系統の空調機更新工事を実施しました。

総合運動場では、野球場事務所空調設備更新工事と、1塁側の壁から剥離したクッションラバーの修繕を、

南スポーツセンターでは、利用者からのご要望を受け、屋外トイレを洋式化する改修工事とプールろ過装置修繕を実施しました。

達成状況については、工事が順調に進むよう、施工業者及び関係課と連携を取りながら、工事の監理・監督を行い、アジア大会に向けた改修などを行っております。

課題と今後の取組については、施設が全体的に老朽化しており、施設運営においては故障する前の予防整備が重要ですので、利用者の方が安心して利用できるよう、運営する小牧市スポーツ協会や市の関係部署と協議しながら適切な維持管理に努めてまいります。

以上簡単ではありますが、令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についてのご説明とさせていただきます。

質問・意見

[松本委員]

2点質問です。1点目は2ページ目にありました、スポーツ指導者の登録者数です。289人が490人となった理由が、登録者の計上の仕方が変更になったからだとお聞きしました。変更前と変更後を同じ様に比べたときに、実質増えているのか変わっていないのか教えていただきたいです。

2点目は6ページ目のいきいきシルバースポーツ学級についてです。どういった種目を実施しているのか具体的に教えていただきたいです。

[事務局] (永田主事)

1点目のスポーツ指導者の登録者数については、実質的にはあまり増えておらず同じような状況となっております。内訳としましては、市の公認スポーツ指導員が46名、ジュニア指導者バンクの登録者数が317名、スポーツ推進委員が39名、運動部活動の民間指導者が88名、合計で490名となっております。

2点目のいきいきシルバースポーツ学級についてですが、高齢者が気軽に楽しめるようなニュースポーツなどをメインに実施しております。例えばミニテニス、カローリング等、室内で気軽に楽しめるようなスポーツを体験していただいております。

[花井委員]

先ほど細かくお話していただいた、様々なスポーツ指導登録者についてですが、実際にどのぐらいの方が活動しているのか。また、研修制度はどんな形で実施しているのか教えていただきたいです。

[事務局] (永田主事)

スポーツ指導登録者につきましては、普段から様々な場所で指導をいただいております。例えば部活動の民間指導者は、学校部活動に顧問のサポートという形で、普段から部活に携わっていただいております。

また指導者の研修等につきましては、公認スポーツ指導員養成講座を実施しております。研修を通して、指導者の方に自己研鑽を積んでいただいて、普段からの指導に生かしていただくようにしております。研修につきましては、座学だけではなく実技を伴う形で、実施させていただいております。

[花井委員]

公認スポーツ指導員になるために講座受講はノルマですか。

[事務局] (永田主事)

実施する講座を規定の回数以上受けていただくことに加え、普段から実技指導を年20時間以上実施していることを条件として、市の公認スポーツ指導員に登録をすることができるとしております。

[長尾会長]

部活動の民間指導者について、実績数を教えていただきたいです。

[事務局] (永田主事)

令和6年度の実績となりますが、9つの中学校と1つの小学校に民間指導者を派遣しております。中学校につきましては、運動部のほか文化部にも派遣をしておりますが、総数としては100名の方に指導をしていただいております。1人の方が複数の中学校に指導に行くこともありますので、実数ではなく総数という形で回答をさせていただきます。

[宮崎委員]

親子体操教室で南スポーツセンターを使わせていただいているが、夏は非常に暑い。冷房設備がないので、今年度からはスポットクーラーを4台入れてもらったが、機器のサイドからは熱風が出るような状況で、部屋全体はとても暑い。また冬はとても寒い。冷暖房の完備をお願いしたいがいかがでしょうか。

[事務局] (丹羽施設運営係長)

そういったご意見はこちらも把握しております。導入について検討の方はしておりますが、なかなか財政事情が厳しいところもございます。また財政当局と調整しながら進めていきたいと考えております。

[花井委員]

今の発言に対して厳しい言い方かもしれませんが、保育園や幼稚園や小学校などでは熱中症対策は徹底してやっております。市が関わっている行事に対して財政云々はもちろんあるが、事が起きた際に改善されていなかったとなれば、市の責任になってきます。積極的に改善していくべきであり、もし改善できない状況下で熱中症の危険があるのであれば、そのプログラムは一時中止する等、そういう対策を積極的にして安全管理を考えていかないと、市の業務としては非常にお粗末な状況と思います。

[舟橋委員]

資料1の2ページの下、パークアリーナ小牧のメインアリーナの利用率は横ばいか微妙に上がっています。それに対して、サブアリーナと南スポーツセンターグラウンドは大幅に減少しているが、何か原因と理由があるのでしょうか。

[事務局] (丹羽施設運営係長)

令和7年2月にサブアリーナLED照明の工事を実施しました。その関係で施設が使えない期間が1ヶ月程度あり、それが影響していると考えております。

グラウンドについては原因特定ができておりません。

[花井委員]

部活動の地域展開についてです。連携部活動を実施されており、令和5年に2校、令和6年に5校で実施している。令和7年も昨年同様に同じ学校で実施しているという理解でよろしいですか。

[事務局] (藤田文化・スポーツ課長)

小牧には9中学校ございます。連携部活動として9中学校のうち、2校で連携実施している所と3校で連携実施している所があります。残りの4校は単独で部活動をしております。

[花井委員]

安全管理のところに課題があるという説明がありましたが、どのような点が課題になっているのでしょうか。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

学校同士が連携をし、指導には民間指導者にも入っていただいて、地域連携という形でやってきましたが、基本的には学校部活動の範疇からは出ておりません。欠席の連絡等は学校で受け、けががあった場合は学校から保護者の方に連絡を取る等といった形となっています。地域の取組として移行していきたいが、連絡手段が学校しかないという状態です。

予算の範囲内ですが、携帯のレンタルによって連絡手段の確保はしていますが、まだまだ学校と保護者間での連絡という形からはなかなか外すことができていません。そういった意味で安全管理や連絡手段に課題があると考えています。

[花井委員]

いつ頃から新しい体制を始めることを目指していますか。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

今日お話をさせていただいたのは、部活動検討委員会で検討を進めている内容です。来年度の令和8年度から13年度までが国のいう改革の実行期間であり、前期3年間で、形を作っていくという方針も出されているため、令和9年度からを目標にと考えておりますが、あくまでまだイメージの段階であり具体的な形として打ち出せているわけではございません。

[花井委員]

指導者の確保は大変かと思えます。先生方が兼務していいというのはありがたいと思う一方でケガ云々はつきものであり、今は学校教育の中の活動として保障がされている。地域展開したときにそこをどうするかが、大きなハードルになると思えますので、考えていただきたいと思えます。

[長尾会長]

官民連携という言葉がよくあります。小牧市でも様々な民間企業と連携をしていると新聞記事をよく見ました。スポーツ活動についても連携ができると思います。

市内には民間のスポーツ施設が様々あります。女性に限定した健康づくり施設もあります。そうした民間の様々な施設の実態を踏まえ把握した上で施策がある。

運動や健康づくりの意識は随分高いと思っていますし、そういう実態を踏まえながら、何か施策に生かしていくことは十分考えられる。女性のスポーツ実施率がすごく低いと言うが実際は違うと思う。30分だけ運動の店舗等あり、最近も本庄にできましたが結構繁盛している。こういった活動も大枠として考えていくような、視野の広い把握と施策の展開は難しいでしょうか。

[事務局] (藤田文化・スポーツ課長)

スポーツが持つ意味は色々あると思います。運動、健康、仲間づくり、地域の活性化など多様です。市の他の部署でも色々なスポーツの意義に関連するような施策を展開している所もあります。民間でも様々な活動をしていただいています。

今後、市の関係部局はもちろんですが民間企業の実際の活動も考慮した中で、例えば連携をしてやっていくこと、住み分けのような形で施策を分けていく等、体系的に進めていく必要があると考えております。

[花井委員]

会長の方から官民連携という話が出ました。中部大学も数年前からスポーツで地域に貢献していくということを始められています。中部大学と小牧市で連携を組み、色々な投げかけをしていただければ、それに対して考えていきたいと思います。

また中部大学にスポーツの学科があります。学生の時間と子どもの時間がバッティングするので土日に限定されてしまうと思いますが、指導者についても要望いただければ検討したいと思いますので、お声がけをいただければと思います。

[長尾会長]

ありがとうございました。

議事(1) 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、事務局案の通りとしてよろしいですか。

= 異議なし =

次の議事に移ります。議事(2) 令和8年度教育委員会基本方針重点施策について、事務局から説明をお願いします。

[事務局] (松浦事業推進係長)

令和8年度教育委員会基本方針重点施策についてです。

資料2の1ページをお願いいたします。

小牧市教育委員会基本方針の位置付けといたしまして、小牧市教育振興基本計画との関係性を記載しております。

あらためてご説明いたしますが、教育振興基本計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間の方向性を示しており、本市の教育が目指す方向や具体的な施策を明らかにしております。一方、この教育委員会基本方針は、この10年間で示された施策、取組のうち、令和8年度の予算状況などを勘案して、令和8年度における重点施策を取り出しております。

教育振興基本計画が10年間という長期的なものであるのに対して、教育委員会基本方針は、単年度に実施する、より具体的な施策を示したものとなっております。

資料の2ページをお願いします。

基本目標6、「誰もが参加できるスポーツ活動の展開」です。具体的な取組として、スポーツ教室の開催をはじめ、4つの取組をあげております。

表の1つ目と2つ目に記載したスポーツ教室の開催、子ども対象のスポーツ教育開催につきましては、令和8年度も引き続き重点施策といたします。

表の3つ目、地域クラブの検討につきましては、部活動検討委員会の審議を踏まえながら、今後具体的な取り組みの検討を行って参ります。

表の4つ目、アジア競技大会の開催と活用についてですが、少し丁寧に説明させていただきます。

今年の9月から10月にかけて、本市パークアリーナ小牧でバレーボール競技の実施が予定されています。

大会を盛り上げていくため、8月29日にアジア競技大会聖火リレーの実施を予定しております。今月2日まで、公募にてランナーを募集し、計72名の方に応募をいただきました。今後、本市が応募者の選考を実施し、大会組織委員会に推薦を行います。最終的なランナーの決定は5月中旬以降の予定であり、組織委員会が決定を行います。

また、10月にはアジアパラ競技大会の採火イベントを予定しております。これは、市内の障がい者就労施設の厨房から種火を取り、それを1つに集め「アジアパラ競技大会の小牧の火」を作成するものです。作成した火は別日に行われる各自治体の火を1つにまとめるセレモニーに届けられます。

最後に、大会ボランティアについてです。大会組織委員会より、小牧での大会で必要となるボランティアの数は290名を確保することを目標とされておりました。広報こまきで周知するとともに、各種団体や商工会議所に周知を行い、目標人数を大きく上回る446名ものボランティアに集まいただきました。今後、会場内外でボランティアの方々が活躍する場面があると思います。このように市民がスポーツをする、見るというだけではなく、支えるという立場からもスポーツ活動に参画することで、社会の活性化に繋がります。アジア競技大会から生み出される様々な価値を今後のまちづくりに生かしていきたいと考えております。

す。以上、令和8年度教育委員会基本方針重点施策の説明とさせていただきます。

[長尾会長]

ありがとうございました。

議事（2）令和8年度教育委員会基本方針重点施策について、ご意見がなければ事務局案のとおりとしてよろしいですか。

=異議なし=

次の議事に移ります。議事（3）第2次小牧市教育振興基本計画の方針案について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]（松浦事業推進係長）

第2次小牧市教育振興基本計画の方針案についてです。

資料3の1ページをお願いいたします。

また、お配りいたしました小牧市教育大綱小牧市教育振興基本計画概要版の4ページ、5ページの体系図も併せてご覧ください。

課題の1と2でも触れましたが、教育大綱及び教育振興基本計画は令和8年度末をもって計画期間が満了となることから、改定をいたします。

次期教育振興基本計画の計画期間は令和9年度から令和18年度までの10年間とし、5年で見直すこととしております。

教育大綱は、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を市長が定めるもので、市の総合教育会議及び市政戦略本部で議論を進めてまいります。概要版体系図では、左側の基本目標までの部分となります。

なお、教育大綱は、国の教育振興基本計画及び愛知県教育振興基本計画の内容を参酌するとともに、本市の最上位計画である小牧市まちづくり推進計画との整合性を図ります。

教育振興基本計画については、教育大綱を踏まえ、本市の教育が目指す基本的な方向や今後推進すべき具体的施策を教育委員会が定めるもので、会長も委員となっております小牧市教育振興基本計画推進会議で協議・調整を進めてまいります。

概要版の体系図では、右側の施策、また6ページ、7ページで一部分のみ記載されておりますが、○印の具体的な取組内容までの部分となっております。

資料3の2ページをお願いいたします。2の当審議会所管分における教育振興基本計画改定の考え方です。

基本的な考え方といたしましては、市民のウェルビーイングの向上の観点から、令和7年6月に改正されたスポーツ基本法の基本理念を踏まえ、市民の生涯

にわたる心身の健康を保持し、豊かで活力ある地域社会の形成を目指し、社会教育の視点を通してスポーツ振興施策を体系的に整理するものとします。なお、スポーツ分野は、保健、高齢者、障がい者、多文化共生、地域活性化など、市長部局の幅広い分野と関連を有するが、ウェルビーイングの向上という共通目的のもと、関係部局との連携・協働を図りながら、一体的に施策を展開するものとします。

資料の3ページをお願いいたします。

3番の教育振興基本計画改定の方針です。

教育大綱と教育振興基本計画と共有しております、概要版4ページにある8つの基本目標につきましては、先の総合教育会議において、基本的には大きく変わらないものの、現状抱える課題などを踏まえて、時代に即した内容を取り入れる必要があるとの方向性が示されております。

基本目標を達成するための教育振興基本計画の施策については、国のスポーツ基本計画や愛知県のスポーツ推進計画を参酌しつつ、令和5年度から12年度までを期間としている小牧市まちづくり推進計画との整合性を図りながら、具体的な取組を設定したいと考えております。現計画における施策とまちづくり推進計画の展開方向は(1)のとおりとなっております。

なお、3ページ下部にありますよう、国において第4期スポーツ基本計画の策定に向けた検討が行われています。スポーツは「する・みる・支える」という観点に加え、「集まる・つながる」といった観点からも社会の活性化や課題解決に寄与する価値があるとしており、本市におきましても、様々な観点を踏まえた上での計画の策定をしていきたいと考えております。

資料の4ページをお願いいたします。

4番、現状と課題及び施策の方向性です。

(1)につきましては、議題の1とも重複いたしますが、教育振興基本計画の指標の過去2年間の進捗状況を掲載しております。

資料の5ページをお願いいたします。

(2)の課題と施策(具体的な取組)の方向性についてです。

まず、課題であります。先ほど議題1で説明したとおり、働き世代である30歳代～50歳代や女性のスポーツ実施率が低い状況ですので、ここをターゲットとした施策を展開していく必要があると考えます。

また、このほか、全国的に課題となっている、中学校部活動の地域展開や地域のスポーツ団体の活動促進、活動場所といった環境整備などに関するものなど、大小様々な課題があると考えております。

なお、部活動の地域展開につきましては先の議題でもご説明いたしましたが、昨年改正されたスポーツ基本法では、地方公共団体においては、中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保、国においては、その施策を実施する上で

の必要な助言、指導、経費の補助といった役割が明確化されました。

それを踏まえて、スポーツ庁では、地域展開に関する新たなガイドラインを策定するとともに、令和8年度予算では、地域クラブ等の受け皿整備や指導者確保などを目的とした新規支援を計上しております。

本市におきましても、子どもたちが将来にわたりスポーツに継続して親しむことができる持続可能な環境を整備するため、今後の国の財政支援の活用を視野に入れ、必要な経費を見通した、指導者の安定的確保、地域団体との連携、安全管理や責任体制を含む管理体制、活動する場所の確保などといった体制について、まずはしっかりとした制度設計をし、その上で子どもたちのニーズも踏まえた地域展開を進めていきたいと考えております。

教育振興基本計画の改定につきましては、今後、全体的な構成や方針などを定めた上で、小牧市教育振興基本計画推進会議で、協議・調整がされていくこととなりますが、只今お示ししたような考え方や方針をもって、また長尾会長にもご意見をいただきながら改定作業を進めていきたいと考えておりますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。説明は以上です。

[長尾会長]

地域スポーツ団体として小学校区ごとに立ち上がったスポーツ振興会と地域協議会の連携について伺いたい。地域の方々の健康やスポーツ活動の展開を考えたときに、協議みたいなものは実施されているのかいかがでしょうか。

[事務局] (駒瀬健康生きがい支え合い推進部長)

スポーツ振興会は小木以外の15団体、地域協議会は14団体あり、それぞれ連携をしながら運営しています。特に地域協議会は地域の振興、福祉の関係もやっております。地域協議会がない地域もあり、そこは地元の区と連携をしながら活動をしているところですが、人口減少・高齢化が進んでおり活動がしづらくなってきている部分があります。スポーツ振興会や地域協議会と連携をしながら活動していきたいと考えています。

発言をする機会をいただきましたので、全体を通して少しお話をさせていただきたいと思います。

夏場のスポーツ活動について先ほどご意見をいただきました。特にここ2、3年、急激に暑くなるというような状況となっています。学校の体育館については今年度に空調設備の設置がされ、来年度以降、学校以外の事業にも活用ができる形となっていきます。そういう設備を有効に使いスポーツ活動をしていただくという一方で、外でやるような競技は身体の危険を伴う状況も考えられます。暑さ指数によって危険性が判断できるため指数を基に活動を控えたり、暑い時間帯を避けたり、活動時期を変えるなど対策を取り、スポーツ活動を続けていきたいと考えております。本来、空調設備が各施設に設置できると良いのですが、予算上かなり負担になります。まずはできる対策からしていきたいと思っております。

民間との連携について、花井委員からは産学間の連携というお話をいただきました。アジア競技大会のボランティアの募集の関係で私が各企業を回った際、ボランティアや指導員等できる範囲で対応させていただきたいというお話をいただきました。また学校においても高校生、中学生に協力をいただける部分もあると思います。すべて活用しながらスポーツ振興、健康の増進に努めていきたいと考えております。

様々な課題がある中で少しでもいい形、未来に希望を持てるような形で進めていきたいと思っております。今後も様々なご意見をお聞かせいただければと思っております。

[花井委員]

熱中症について、今おっしゃられたように指数が一般に知られています。指数を基に、勇気ある決断をしていただくのがベストだと思います。幼稚園から大学でも色々なところで時間を変更したりやり方を変えています。もう今までとは違う状況であるというところを踏まえた中で、新しい取組の仕方、事故を起こさない取組の仕方を工夫してやっていくことが大事かなと思います。大学でも、授業をやめて中に入りなさいという形を取らざるをえない状況。勇気ある判断は大事だと思います。

[長尾会長]

他にご意見がなければ、議事（3）第2次小牧市教育振興基本計画の方針案については、事務局のとおりとしてよろしいでしょうか。

= 異議なし =

本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

ありがとうございました。3. その他は特に用意がありませんので、以上をもちまして、令和7年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。